

「地理総合」のトリセツ

1 地理総合の構造～科目の全体像

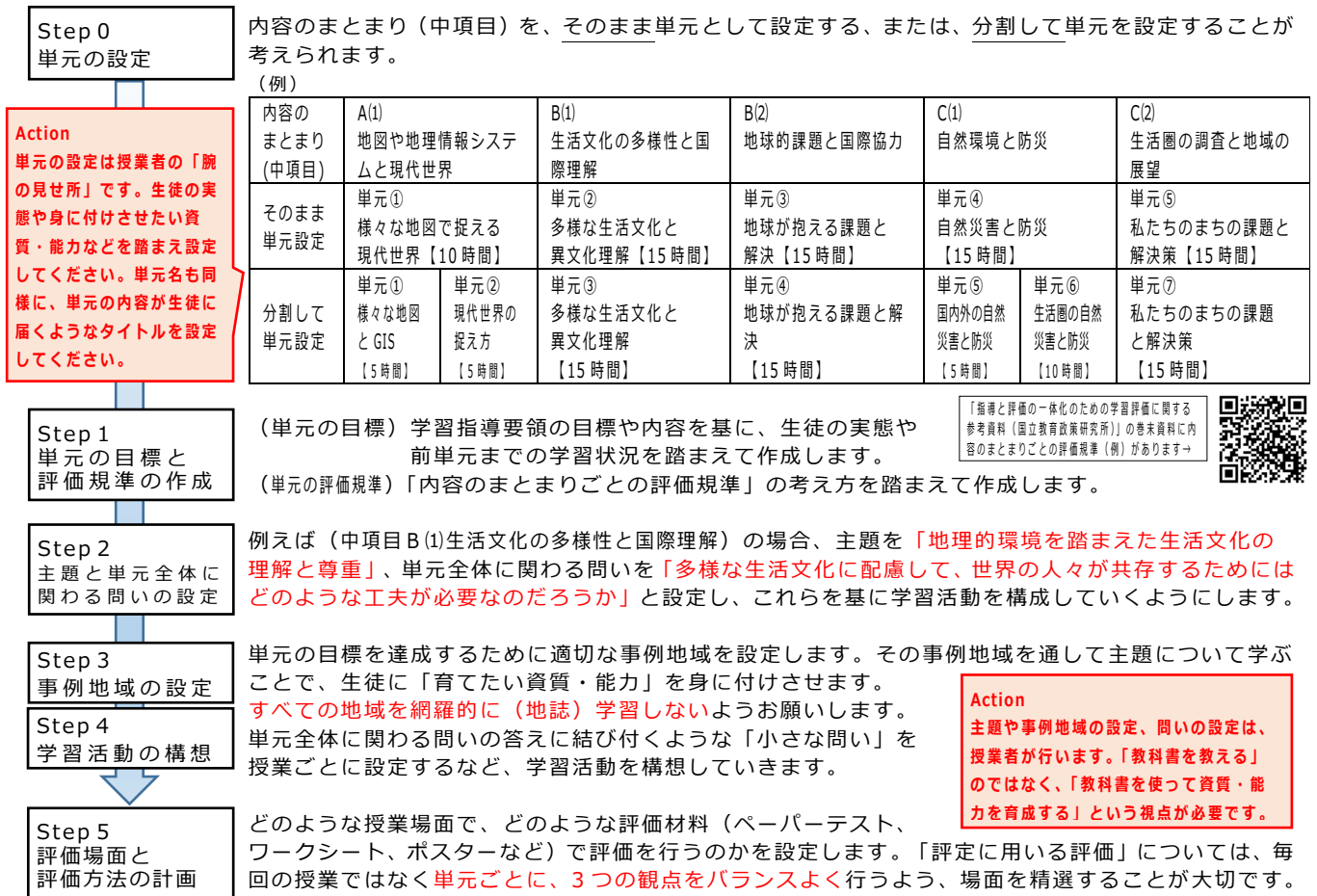


☆中項目 C(2)は、「地理総合のまとめ」としての位置付け
生徒が生活圏の地理的な課題について探究（主題と仮説の設定→資料の収集・分析→考察・構想→まとめ・表現）を行う学習が充実するよう、A(1)～C(1)の学習を進めるといった考え方が重要です。

Action

- ・「単元全体に関わる問い」や「授業ごとの問い」を設定する。
- ・地理的な見方・考え方を踏まえた学習活動を行う。
- ・A(1)で身に付けた技能を B(1)以降でも繰り返し使い、定着させる。

2 地理総合の授業の準備～「指導と評価の計画」の作成



3 地理総合の授業の「技」～多面的・多角的とは?



Action 【技①】は、地理的事象を自然環境側面から考察させた後に、同じ事象を社会環境側面から考察させます。
【技②】は、地理的事象を考察させるスケールを大きな視点でみたり、小さな視点でみたりしています。このような授業を行うことで、生徒の考察内容が深まり、地理的思考力が高まっていくことが期待できます。